

スラヴ語・スラヴ文学の比較対照研究

— 第16回国際スラヴィスト会議への日本の寄与 —

日時：2021年1月9日（土）14:00～17:00

■パネリスト

村田 真一（当研究所所員、本学外国語学部教授）

「スラヴのモダニズム劇とポストモダン劇のカーニバル・モチーフ
— アダムとリリスをめぐる戯曲」

小椋 彩（東洋大学文学部助教）

「レーミゾフのゲストブック『黄金の書』をめぐる」

伊東 一郎（早稲田大学名誉教授）

「スラヴ＝バルカン・フォークロアにおけるアレゴリー「死＝結婚」」

中島 由美（一橋大学名誉教授）

「言語地理学的地図作成から言語史再興へ」

三谷 恵子（東京大学大学院人文社会系研究科教授）

「『シャハイシャ王の12の夢』—スラヴ世界の“孤児の
アポクリファ”の研究方法」

■司会

村田 真一

■開催方法：zoomによるオンライン開催

※ご参加に必要な情報は、お申込み受付完了後、ご登録いただいたメールアドレス宛にご案内申し上げます。

■対象：教員、大学院生

■言語：日本語

■要事前申込み（定員あり）：下記URLまたはQRコードよりお申込み下さい。

申込み締切：1月6日（水）



<https://business.form-mailer.jp/fms/0522933a134235>

※定員に達した場合、お申込みの受付を終了とさせていただきます。

